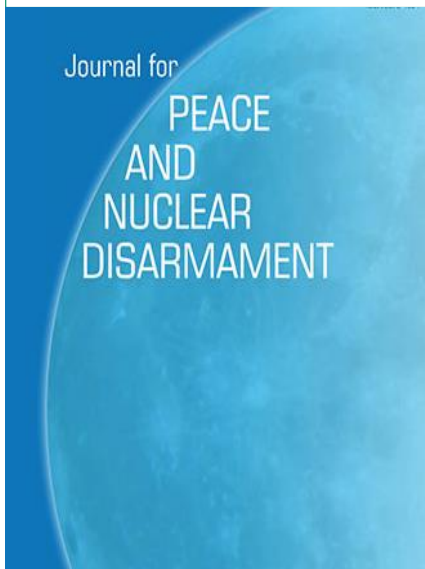


RECNA 10年を振り返る

調 漸
核兵器廃絶長崎連絡協議会

長崎大学編集、Taylor & Francis出版
国際学術雑誌『平和と核軍縮』

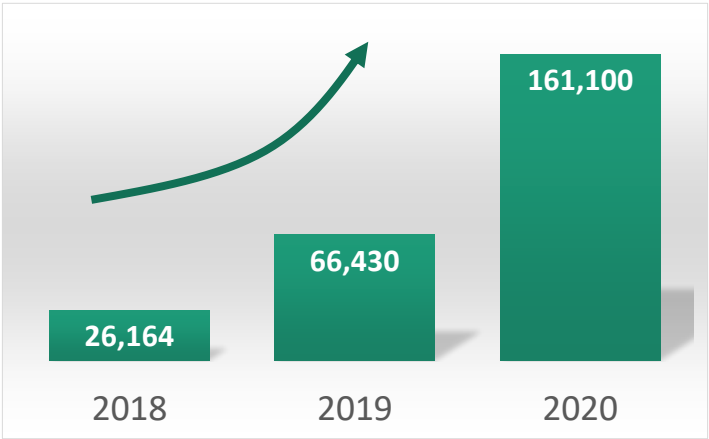


- 主な任務は、理論・実践の両面に関する研究を基盤としながら、核軍縮と平和の促進に寄与することにある
- 核軍縮・核不拡散・軍備管理に関する論文の掲載
- 「核兵器なき世界」の促進・維持に向けた核のグローバル・ガバナンスの新たな枠組みの提案
- 核抑止依存に伴うリスクの検討
- 核軍縮プロセスの前進において市民社会が担うべき役割の分析。

『平和と核軍縮』誌

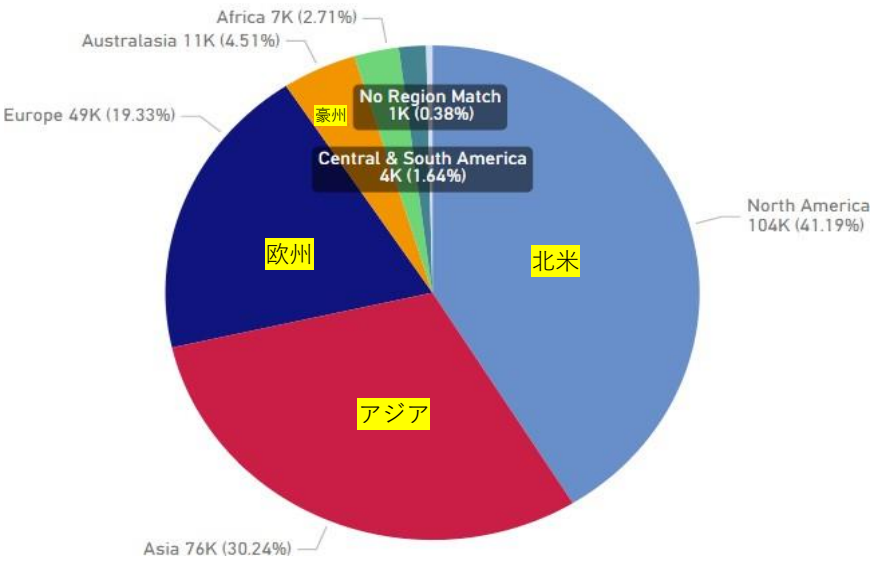
論文ダウンロード数

2019年から
2020年にかけて、
2.4倍増加



Article Downloads by Region (2019-2020)

Full Text Downloads by Region (2019 and 2020 Usage)



「ナガサキ・ユース代表团」



9 期生



10 期生

- 1. ナガサキ・ユース代表团は、長崎県、長崎市、長崎大学の3者が構成する「核兵器廃絶長崎連絡協議会」が主催する次世代を担う若者の人材育成として、長崎県内の大学生等の若者をNPT再検討会議をはじめとする国際会議等に派遣するプロジェクトです。
- 2. その中で、ユースは核軍縮・不拡散外交の最前線で学び、世界各地の人々のネットワークを広げてきました。
- 3. 次世代を担う長崎の若者が、核軍縮や平和の問題を実践的に学び、この分野で活躍する日本内外の人々と出会うことで、自ら考え、行動する力を身に付けることを目指しています。

ユース代表団の活動



私たちの280時間を届けます!

ナガサキ・ユース代表团 第9期生 活動報告会

2021 8/22 14:00-16:00
会場 長崎大学文芸センター102
オンライン参加 無料

「ナガサキ・ユース代表团」は、長崎県核兵器廃絶連絡協議会（NAC）が主催する、長崎県内の大学生等の若者をNPT再検討会議をはじめとする国際会議等に派遣するプロジェクトです。

第9期生は、長崎県内の大学生等の若者をNPT再検討会議をはじめとする国際会議等に派遣するプロジェクトです。

オンライン配信も実施する予定です。詳細は後日発表いたします。

お問い合わせ先：NAC事務局
Eメール: nac@nagasaki-nac.jp
Web: https://www.nagasaki-nac.jp/

ナガサキ・ユース代表団

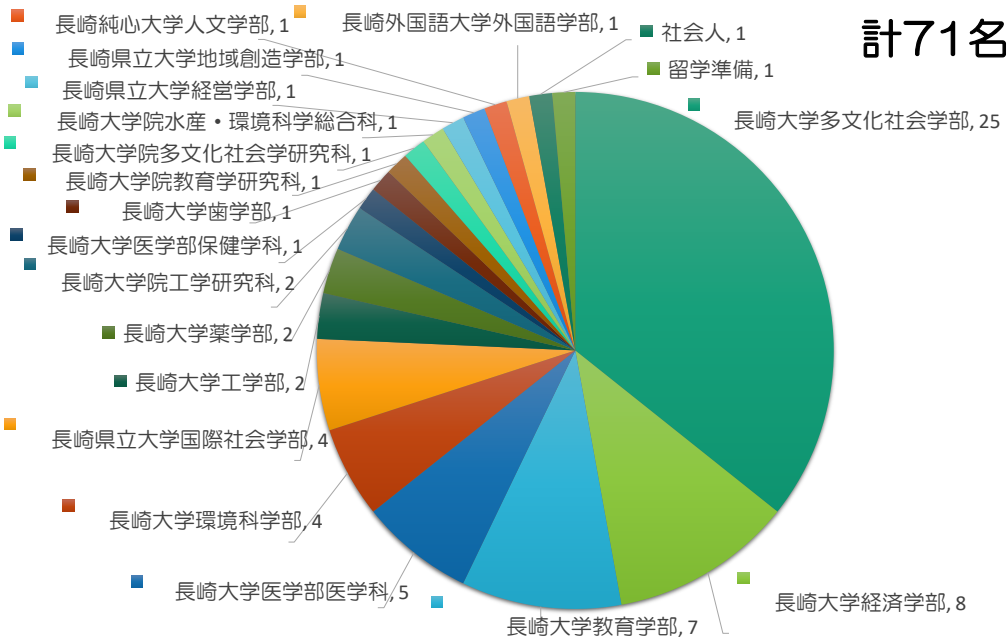
これまでのユースの人数は・・・

1期生	8名	6期生	8名
2期生	8名	7期生	9名
3期生	12名	8期生	7名
4期生	10名	9期生	9名
5期生	9名	10期生	7名

男性 20名 女性 51名
大学生 63名、大学院生 5名、社会人 2名、その他 1名
長崎大学 60名、県立大学 6名、純心大学 1名、外語大学 1名

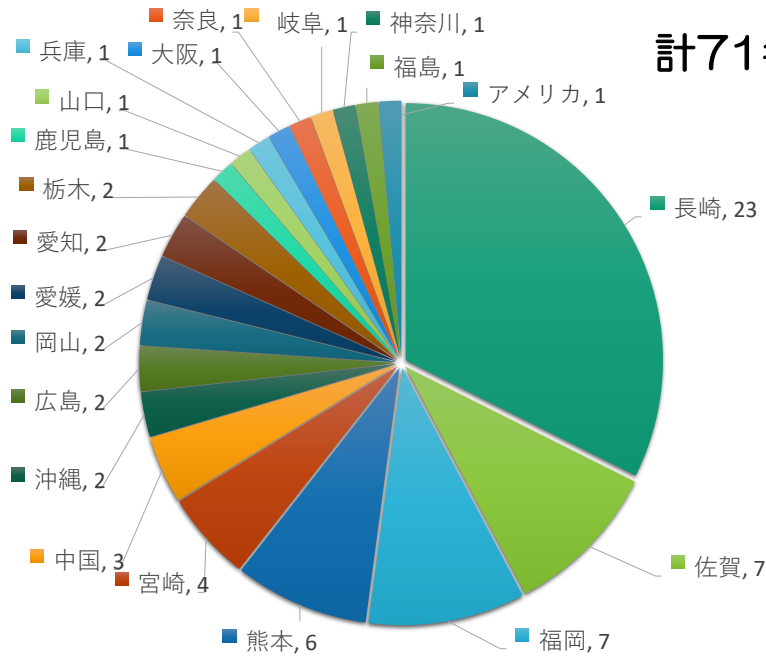
延べ87名 計71名

所属別



出身地別

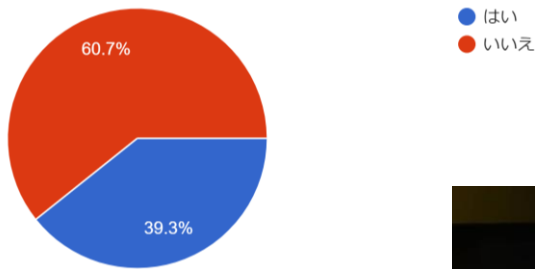
計71名



ナガサキ・ユース代表団OB／OGアンケート集計結果

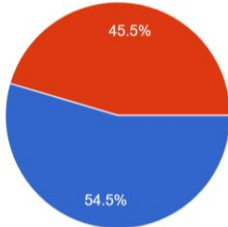
Q1. 現在、平和や核廃絶などについて何かしらの取り組みをしている、あるいは参加していますか？

28 件の回答



Q2. はいと言うお返事の方にお尋ねします。職務の一部として取り組んでいますか？
それとも、私的な時間の中で取り組まれていますか？

11 件の回答

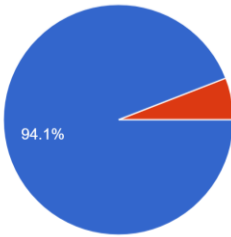


● 職務の一部として取り組んでいる
● 私的な時間の中で取り組んでいる



Q3. いいえと言うお返事の方にお尋ねします。 現在はできていないが将来は取り組みたいですか？

17 件の回答

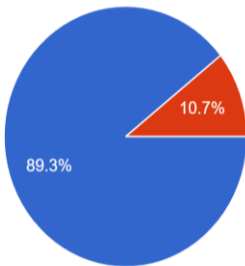


● はい
● いいえ



Q4. 時期は違っていても同じプロジェクトを共有した仲間と、なんらかの形で繋がりたいですか？

28 件の回答



● はい
● いいえ



Q5.何かメッセージや近況報告があればお書きください。

・いわゆる「平和活動」でなくても、日ごろの過ごし方や人との接し方など心掛けているという意味では平和への取り組みをしているかもしれません。

・不定期ですがメンバーとはズームを使用しコミュニケーションを取っています。なかなか仕事をしながら活動はすることはできませんがSNS等を通じて活動はみなさんの追っています！応援しています！

・現在は仕事に慣れるので精一杯で、積極的な活動はできておりませんが、SNS等での情報発信は行っております。今後も勉強会参加等を通して可能な限り関わっていきたいと考えています。

・ユースの時は活動に積極的に参加できたり場が設けられていましたが、OBOGになると全く機会がなかったりと、志が高かっただけあって寂しさもあります。

・職務の一部と私的な時間の双方で取り組んでいます。ユースで過ごした時間はとても貴重でした。

・今は学生ですが、社会人になっても活動を続けられるのか、という心配はあります。それでも何かしらの形で続けていきたいと思っています。

・設立10周年、誠におめでとうございます。当日も参加させていただきます。

・ユース10周年に関するイベントなどが開催される際はOB・OGにも告知していただけると幸いです。

・ユースを引退してもう2年…。なんとか無事に卒業することができ、あっという間に社会人になってしまいました。職場の上司から、「〇〇さんは考えがしっかりしているね」と褒めていただけるのですが、その力はユースで経験したものが間違いなく糧になっているのだと思います。本当にお世話になりました。10周年おめでとうございます！

・社会人1年目頑張っています。ユース、大学を卒業し、中々アクションできていませんが、なにか良い機会が巡ってくれば参加したいと思っています。ユースの益々の発展と核兵器廃絶を願っています！

・核兵器廃絶長崎連絡協議会・ユース代表団設立10周年誠におめでとうございます。ナガサキ・ユース代表団のメンバーとしてレクナを始め、核問題の専門家の先生方を始め様々な方とのご縁をいただけたこと大変感謝しております。また、ナガサキ・ユース代表団として活動できたことにより、自分の人生の可能性がより広がったと感じております。社会人になり、なかなか以前のように平和活動に取り組むことは難しいですが、昨今の核使用の危機も踏まえ、自分自身でも新たな方向からの核無き世界を目指してアプローチしていきたいと思っております。今後とも益々の発展と核なき世界の実現をお祈り申し上げます。

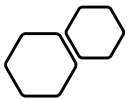
・なかなか長崎に伺えず申し訳ございません。この場を借りて普段考えていることを少し共有させて下さい。最初の質問の答えはグレーです。明確に「はい」とは言えませんが、大学の友人から連絡がきてとても小さな勉強会に先日参加しました。私が主となって行なっているわけではありませんが、これをきっかけに何かできればいいなと考えています。仕事をしている日々では想像以上に時間と気持ちの余裕が無いのですが、このままの日々を続けることへの違和感は常に抱いています。人生を振り返って「学生時代が最も輝いていた」と思うのではなく「学生時代の経験があったからこそ今の私に辿り着けた」と思えるような道を進んでいきたいと思っています。皆さまのご健康とご活躍をお祈りしております。

ナガサキ・ユース代表団の就職・進路先

(アンケート非回答者も含む1～9期生の調査)

会社員15名(金融、IT関係、コンサル、物流など)
 教員10名(小学校7名、高校2名、日本人学校1名)
 メディア関係9名(うち2名は内定。テレビ局3名、新聞社6名)
 大学院・学生5名(在学中1名、本学大学院1名、他大学大学院2名)
 医師4名、看護師1名

核廃絶や平和活動に関わっていると答えた人はほとんどメディアと教員関係者



- ユース代表団を経験したことで確実にさまざまな意味でのステップアップを起こしている
- マスコミ関係への就職が多いのもそう言う傾向を示しているように思われる
- 彼らの多くが現在でも積極的に核兵器廃絶・平和に関わろうとする意識を持ち続けている
- 彼らの今後の展開に期待

